

2018年1月

発行：香川県埋蔵文化財センター

〒762-0024
香川県坂出市府中町字南谷 5001-4
tel: 0877-48-2191 / fax: 0877-48-3249
HP: <http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/>
E-mail: maibun@pref.kagawa.lg.jp



名遺跡(丸亀市飯山町)の発掘調査



▲古代から中世にかけての柱穴群(西から撮影)

平成29年11月より丸亀市飯山町下法軍寺で国道438号(飯山工区)道路整備事業に伴って名遺跡の発掘調査を行っています。

名遺跡の南西約400mの場所には、7世紀後半ごろ建立されたと推定されている古代寺院の法勲寺跡がある他、周辺の田園風景のなかには条里型地割が比較的よく残っています。

これまでの調査では奈良時代から室町時代に至るまでの土器が多数出土しました。また掘立柱建物も数棟確認しており、連綿と人の営みが行われていたことが想像できます。これら掘立柱建物に加えて竈が備え付けられた竪穴建物の存在も確認しています。時期を推測する手がかりとなる遺物が現時点では出土していないため、いつ頃の



▲出土した古代の瓦(左)や須恵器(右)

ものかは断定できませんが、県内では竈付きの竪穴建物が古墳時代中期頃に出現し、飛鳥時代までその存在が確認できることから、名遺跡の竪穴建物もその頃のもの

考えられます。また、興味深いことに、古代の瓦が数点出土しています。当時において瓦を葺いた建物は一般的なものではありません。公的施設や寺院などに特有のものでした。そのような施設や建物を今回の調査で確認しているわけではありませんが、調査地に近接する法勲寺跡に関連するものかもしれません。今回の調査を通して、この地域の古代の姿を鮮明なものにできるのではないかと期待しています。



香川県埋蔵文化財センターテーマ展 讃岐国府跡を探る 9

平成30年1月4日(木)～5月15日(火) 9時～17時
※土・日曜・祝日は休館



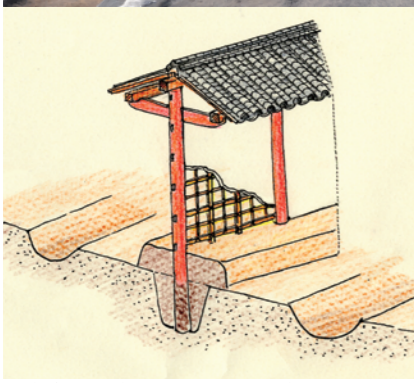
▲空から見た讃岐国府跡

法寺跡東方地区の調査成果の現段階でのまとめをご紹介します。当地区では飛鳥時代から平安時代に至る多数の遺構・遺物が見つかっています。中でも奈良時代終わりに出現する一辺80mの区画施設は、その中に讃岐国最大級の廂付き建物を含み、讃岐国府跡でも重要な位置付けがなされます。区画内は性格を異にする建物が長期間整然と配置されていました。また一帯からは国府域ならではの貴重な遺物も出土しています。これらの展示に加え、今年度で

終わりとなる讃岐国府跡ボランティア調査員(ミステリーハンター)の9年間にわたる活動の足跡もご紹介いたしますので、合わせてご覧ください。



▲ミステリーハンターの活動 まち歩き



▲奈良時代終わりごろから平安時代初めごろ瓦葺きの堀跡(一本柱堀)

国府とは、奈良時代(約1300年前)に地方統治の中心として国ごとに置かれた役所で、現在の都道府県庁のような施設です。香川県埋蔵文化財センターでは、平成21年度から「讃岐国府跡探索事業」に取り組んでおり、坂出市府中町で発掘調査を行ってきました。

今回の展示では平成23年度以降に集中して調査を実施している開

『讃岐の南海道を歩く』が刊行されました

ミステリーハンターが古代の官道である南海道のルートを探って、県内を歩いて調査した成果をまとめた冊子『讃岐の南海道を歩く』が平成29年9月に刊行されました。この冊子は県内の南海道ルート復元案や条里型地割の現状を記録したもので、ミステリーハンター自ら執筆・編集したものです。この冊子は県内の図書館で閲覧することができ、当センターホームページでも公開しています。讃岐の南海道及び各地の歴史遺産を訪ね歩く際の道標としてご利用ください。

